

令和3年度 学校経営の方針

1 教育方針

子ども一人一人の人権を重んじ、もっている能力を最大限に生かした愛情に満ちた適切な教育を行い、それぞれの自立と社会参加を目指す。

2 教育目標

拓く ～夢をもち、自らの道を切り拓く、
たくましく生きる児童生徒の育成～

〈具体目標〉

- もっている力を存分に発揮し、主体的に学ぶ児童生徒を育てる
- 思いやりの心をもち、互いに認め合う児童生徒を育てる
- 人と関わり合いながら、地域で豊かに暮らし、社会参加する児童生徒を育てる

3 目指す児童生徒像

- 明るく元気な子 ー心と体を鍛え、笑顔で生活する児童生徒
- 仲良く助け合う子 ー思いやりの心をもち、共に遊び学ぶ児童生徒
- 喜んで働く子 ー挑戦する気持ちをもち、自ら考え、進んで行動する児童生徒

4 本年度の重点

- (1) 明確な根拠に基づき、主体的に学ぶ力を育てる学習指導の充実と専門性の向上
 - ・ 自立活動の視点による的確な実態の把握と課題の設定及び系統性のある指導計画を立案する。
 - ・ 児童生徒が「分かった、できた、もっと知りたい」と感じ、自ら進んで学ぼうとする姿を追求する、明確なねらいのある授業づくりを行う。
 - ・ 見通しをもって学び、自分の成長や進歩が分かる学習評価を工夫する。
 - ・ キャリア教育の視点で系統性のある教育課程を編成し、児童生徒自身が希望する進路の実現に向け、早期からの進路指導と中学部からの職業教育の充実を図る。
 - ・ ICT 機器の活用を含め、児童生徒が何を身に付けるのかを明確にした授業を実践することにより、教師の専門性の向上を図る。
- (2) 学級経営を基盤とした道徳教育の推進と生徒指導の充実
 - ・ 人間関係を築く力を育み、一人一人の心の居場所となる学級を経営する。
 - ・ 礼儀と思いやり、規範意識、自己指導能力の育成を目指した指導を行う。
 - ・ 保護者と連携し、心身の健康の維持と規則正しい生活習慣の確立に向けた指導を行う。
 - ・ 全ての児童生徒が安全で安心して生活できるよう、環境の整備に努める。
- (3) 地域と関わり、地域に貢献する教育活動の充実
 - ・ 直接的または間接的に地域と関わり、地域に学び、地域に貢献する学習活動を通じて、児童生徒の知見を広め、積極的な社会参加を図る。
 - ・ 学校間交流、居住地校交流、地域との交流などの交流及び共同学習を計画的に行い、障害理解授業や触れ合いをとおして、共に生き、共に学び合える環境づくりを行う。
 - ・ 学校からの情報発信を、機を逃さず積極的に行う。